

岩手郡医報

題字 高橋 孝

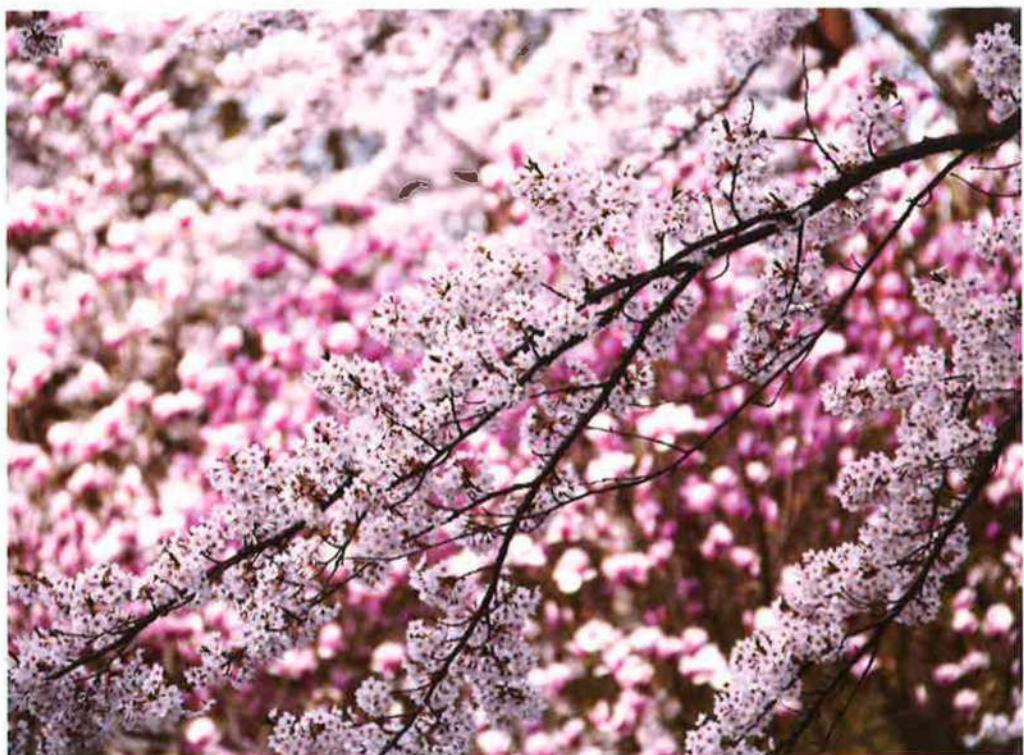


写真 土谷正彦

表紙のことば

題　名：SAKURA

撮　影　日：2005年5月1日 午前5時頃

場　所：岩手県立博物館 駐車場脇

機　材：Canon1Ds-MarkⅡ+CanonEF28~300mm F3.5~5.6L USM(190mmで撮影)

撮影条件：TV5.6 AV1/100 AdobeRGB RAW～TIFに変換 サイズ67.5MB

天候不順のため満足のいく作品とはいきませんでしたが、県立博物館前の桜の写真を提出させていただきます。

西根町　　土　谷　正　彦

巻頭言

「天意に従う心」



岩手郡医師会 会長
及川 忠人

会員諸先生方のご支援・ご協力により、無事に平成16年度を終えて、新しい年度のスタートを切ることが出来たことを感謝申し上げます。

昨年からの事業計画は大きく変わっていませんが、先月4月6日の東京での日本医師連盟の会合において「今年は昭和36年の国民皆保険の制定以来の激動の年になる」と言われたのは、参議院議員の武見敬三先生であります。来年の平成18年4月から、医療保険と介護保険の見直しが同時になされることで、ご承知のようにかなり大掛かりな準備が進められているからであります。

そのような激動の世相の中で、地域郡医師会会員におかれましては、玉山村が盛岡市と、また西根町・安代町・松尾村が八幡平市へと合併問題が重要な課題として迫って参ります。それぞれの地域医療の量と質の低下を避けることを第一の条件として、これらの課題を捉えて行くことが今、求められております。特に地域医療の現場のご意見を尊重しつつ、岩手郡医師会の方向と態度を定めて行くことが重要ではないかと考えております。

「凡そ事を作すには、須らく天に事うるの心あるを要すべし。人に示すの念あるを要せず。」これは佐藤一斎の「言志録」にある言葉であります。それは「總て事業をなすには、ぜひとも天意に従う敬虔な心を堅持することが肝要であり、功を人に誇示し、自分の存在を社会に認めさせようとする気持ちがあつてはならない」という意味であり、実際には我々会員にとっても、このことを実行することは極めて難しいことであります。この言葉は昨年の臨時総会の特別講演の神渡良平先生が解きほぐした言葉の一つでもあり、天に事えることと至誠ということが何かを教え諭しているように思われます。

またこの言葉と似たものに「自らを欺かず。これを天に事えるという。」という言葉が佐藤一斎の「言志録」にあります。これを学んだ西郷隆盛が明治維新で活躍し、西南戦争で惜しまれて没した生涯において、国民から慕われる人徳と胆識が練られたとの説明が神渡先生からなされたことを思い浮かべます。

激動の時代に置かれた我々岩手郡医師会会員一人一人が、地域から信頼される郡医師会を目指すためにご支援ご協力により地域の医師会活動に微力を尽くしたいと願っております。さらなるご指導ご鞭撻を御願いして、つたない巻頭言に代える次第です。

目 次

卷 頭 言 会長 及川 忠人 1

総会議事録

平成16年度 第2回通常総会議事録 総務担当理事 久保谷 康夫 2

特別講演『みんなで地域を支えるために』桜新町リハビリテーションクリニック 院長 長谷川 幹 3

総務会報告

平成17年度 第1回総務会 総務担当理事 篠村 達雅 4

理事会議事録

平成16年度 第6回理事会議事録 総務担当理事 久保谷 康夫 4

平成17年度 第1回理事会議事録 総務担当理事 久保谷 康夫 5

部会報告

広報部会 担当理事 栢内 秀彦 7

勤務医部会 担当理事 岡田 行生 7

学校医部会 担当理事 上原 充郎 8

地域医療部会 担当理事 篠村 達雅 9

いわて医師協同組合 第15回通常総代会 副会長 高橋 孝 9

結核健診のアンケート結果 10

会員の異動 11

お知らせ 11

岩手県医師会野球大会 11

平成17年度 第1回通常総会 12

編集後記 広報担当理事 栢内 秀彦 13

総会議事録

平成16年度 第2回通常総会議事録

総務担当理事 久保谷 康夫

日 時：平成17年3月12日(土)

午後3時半～5時

場 所：ホテルニューカリーナ 2階シルキー

出席者の確認：委任状を含め78名の参加であり、定款に定める定数を満たしたため会の開催を宣言した。

議長選出：議長に高橋孝副会長を選出した。

会長挨拶：及川忠人会長が挨拶した。

追加的に、予算事業を説明し、全会一致で承認された。

第4号議案：平成17年度岩手郡医師会予算 (案)について

経費削減に努めた緊縮予算であることを説明し、全会一致で承認された。

[報告事項]

1. 平成16年度部会活動について各担当理事が報告した。

[議 事]

第1号議案：平成16年度岩手郡医師会一般会計補正予算(案)について

役員慰労金等の歳出増加に伴う、特別会計からの繰入金などについて上程し、全会一致で承認された。

以上で議事を終了した。

第2号議案：平成16年度岩手郡医師会特別会計補正予算(案)について

年度末に歳入が見込まれる補助等金について提案理由を説明し、全会一致で承認された。

第3号議案：平成17年度岩手郡医師会事業計画(案)について

平成16年度担当部会活動に



特別講演 「みんなで地域を支えるために」



桜新町リハビリテーションクリニック
院長 長谷川 幹

1. 筋力

70歳代の筋力は、20歳代に比較して30～40%の低下があります。そして1週間ふとん、ベッドから動かないで食事や排泄をすると約10%の筋力の低下が見られます。そのため、「寝たきり状態」になりやすいです。

その対策としては、「3日寝たら要注意」と考え、早く動くことが重要で、立位が不安定であれば、「座る」ことを積極的にすることです。筋力は日々のトレーニングで少しづつ改善し、80歳、90歳代でも「年相応に」改善しますのであきらめないことです。

2. 脳卒中など中途障害の方の心理

脳卒中、脊髄損傷などの中途障害を持つとその心理は複雑です。その特徴としては、①病前を基準にして現在を比較するため、いつまでも「よくなっていない」と思う、②「なんでこんな病気になった」とうらんだり、責めたりする、③「悔め」、「情けない」、「死にたい」などの気持ちから、近所の人などに会いたくなく、「閉じこもり」になりやすい、④家庭では、家族は「健常者」で、自分だけが「障害者」と思い、孤独感を味わうときがある、などであり、全体として生活するのに「極めて自信がない」状態であります。

3. 援助する側が考えておくこと

そこで援助する側はこのことを念頭に置き、①「意欲がわからない」、「閉じこもり」があたりまえで、そこから出発する、②始めの一歩が5歩にも8歩にも感じて、なかなか踏み出せない、③本人の趣味、興味などを知る、④主体的な活動に向けて「自己決定」できるような選択肢の提案と「間」をおく、⑤本人が「楽しみ」（「できない」と思っていることが「できた」体験）、「役割をもつ」、「主役になる」などの場を通じて少しづつ「自信」がつく、⑥気持ちの整理がついて、前向きになるのに3～5年かかるのは珍しくない、などの認識が重要であります。



4. 具体的な援助

在宅の特徴は、①当事者の城であるため、自己選択、自己決定がしやすい、②当事者の日々の生活から、問題が具体的になり、当面の目標が共有化しやすい、③当事者の趣味、興味などがわかりやすく、関連したプログラムが提案しやすい、などあり、デイサービスの特徴は①生活の断面がみえる、②個別の対応ができると同時に、集団のよさをいかせるプログラムができる、などです。

5. 地域活動のさまざま

筆者はこれまで地域の障害者とさまざまな活動をしてきました。①当事者、家族が企画・運営する「自主グループ」、②趣味、興味などを生かしたクラブの結成（写真、歌舞伎、ゴルフ、音楽会など）、③仕事一筋（趣味がなく人づきあいがよくない）の当事者の話などミニ講演会、④病前の得意技を生かしたボランティア活動、⑤多摩川での遊び、旅行、市民の音楽会などがあります。

6. まとめ

このような活動を通じて以下のようなことがわかりました。①「障害者」＝被介助者周囲の人々＝介助者という関係のみから解放すること②「障害者」は「弱者（全体的に弱い）」ではなく、「弱点」があるだけで秘めた能力がある、③「障害者」がボランティアをする時代であり、この観点からすれば、「障害者」の問題というより「健常者」がどのように考えて「障害者」を援助するかが重要と思います。

平成17年度岩手郡医師会理事職務分掌

顧問	高橋牧之介
会長	及川忠人
副会長	高橋孝
副会長	西島康之
総務	篠村達雅・柄内秀彦 久保谷康夫
地域医療	篠村達雅・久保谷康夫 紺野敏昭
広報	柄内秀彦・紺野敏昭 成島勝之助

勤務医	岡田行生・三善悟
保険担当	佐々木久夫・久保谷康夫
産業医	三善悟・西島康之
学校医	上原充郎・佐々木久夫
健康教育	飯島仁・高橋孝
生涯教育	高橋孝
有床診療所	西島康之
医師連盟	篠村達雅・西島康之 高橋孝

総務会報告

総務担当理事 篠村達雅

平成17年度 第1回総務会

日 時：平成17年4月12日(火)
午後6時半
場 所：ホテルメトロポリタン盛岡
New Wing

出席者：及川忠人会長、高橋孝副会長、
西島康之副会長、久保谷康夫、
篠村達雅、柄内秀彦の各理事。

理事会議事録

総務担当理事 久保谷康夫

平成16年度 第6回理事会議事録

日 時：平成17年2月24日(木)
午後6時
場 所：ホテルメトロポリタン盛岡
New Wing

出席者：及川忠人会長、高橋孝副会長、
西島康之副会長、飯島仁、

岡田行生、上原充郎、久保谷康夫、
佐々木久夫、篠村達雅、柄内秀彦、
成島勝之助の各理事。

【会長挨拶】

及川忠人会長より挨拶があった。

【報告事項】

1. 平成16年度盛岡地域県立病院運営協議会(2月1日)報告(及川会長)
2. 平成16年度岩手県主治医研修会(2月5日)報告(及川会長)
3. 第3回都市医師会長懇親会・第5回都市医師会長協議会(2月16日)報告(及川会長)
4. 盛岡地域保健医療計画見直し(2月24日)の報告(篠村理事)
5. 介護保険の改訂の報告(2月2日)(高橋副会長)
6. JA広報への投稿の報告(柄内理事)

【協議事項】

1. 平成16年度岩手郡医師会補正予算(案)について

協議の上承認された。

2. 平成17年度岩手郡医師会事業計画(案)について

各担当別事業計画を承認した。

3. 平成17年度岩手郡医師会予算(案)について

協議の上承認された。

4. 通常総会及び特別講演会について

協議の結果以下の案が承認された。

日 時：平成16年3月12日(土)

午後3時半

場 所：ホテルニューカリーナ 2階シルキー

通常総会：午後3時半～4時45分

特別講演：午後5時～6時

演題「みんなで地域を支えるために」

講師 桜新町リハビリテーションクリニック院長

長谷川 幹先生

懇親会：午後6時～8時半

5. 町村合併に伴う岩手郡医師会の対応について

今後協議することとした。

6. 県医師会親睦野球大会準備委員会(案)について

以下の案が承認された。

日時：平成18年8月27日(日)

場所：零石町営野球場を主会場とする。

委員長は会長とし、企画担当は久保谷理事とすることとした。

【その他】

1. 医師会費の未納者等の取り扱いについて

2. 休日当番医の取り扱い患者報告の取りまとめについて

3. 平成17年度会員・家族・従業員の健診事業について

4. 盛岡労働基準監督署による「労働条件自主点検実施結果」について

以上で議事を終了した。

平成17年度 第1回理事会議事録

日 時：平成17年4月19日(火)

午後6時半

場 所：ホテルメトロポリタン盛岡
New Wing

出席者：及川忠人会長、高橋孝副会長、

西島康之副会長、飯島仁、

岡田行生、上原充郎、紺野敏昭、

佐々木久夫、篠村達雅、柄内秀彦、

成島勝之助、三善悟の各理事。

New Wing

【会長挨拶】

及川会長より挨拶があった。

7) 2月 4日：第2回通常総会：ホテルメトロポリタン盛岡 本館

【報告事項】（及川会長）

1. 第2回地域医療グランドデザイン策定ワーキンググループ会議（3月29日）について報告した。
2. 第1回都市医師会長協議会（4月9日）について報告した。

2. 平成17年度岩手郡医師会部会別事業計画を承認した。

3. その他

- 1) 岩手郡医師会内町村合併に関して検討した。
- 2) 医師国保・保健体育事業開催計画（5月末日）を承認した。
- 3) 監事選任に関する件（嶋信氏退会に係わる後任選任）について検討し、高橋克郎会員の推薦を承認した。
- 4) 岩手郡医師会への入会希望者の件を検討した。
- 5) ケアマネージャー研修会開催の件を承認した。

【協議事項】

1. 平成17年度岩手郡医師会主要活動予定について承認した。

- 1) 7月 2日：第1回通常総会：ホテルメトロポリタン盛岡本館
- 2) 8月21日：岩手県医師会親睦野球大会
- 3) 9月25日：岩手県医師会親睦ゴルフ大会
- 4) 9月17日：救急蘇生法研修会（岩手町又は葛巻町）
- 5) 10月22日：町民健康講座（岩手町又は葛巻町）
- 6) 11月26日：臨時総会、特別講演会、忘年会：ホテルメトロポリタン盛岡

【医師連盟活動報告】

1. 自民党岩手県支部連合会定期大会（3月12日）について報告した。
2. 衆議院議員小選挙区担当責任者懇談会（4月6日）について報告した。

【その他】

1. 岩手郡医師会 部会・委員会活動報告書の様式について承認した。



部会報告

広報部会

担当理事 栄内秀彦

1. 平成16年度 第5回岩手郡医師会広報部会

日 時：平成17年3月15日(火)

午後7時

場 所：ホテルメトロポリタン盛岡 本館

【報告事項】

- 1) 平成16年度会報第3号の校正

2) 平成17年度会報発行予定の検討

(1) 年4回の会報発行とする

(2) 表紙の決定

(3) 卷頭言、編集後記はちまわりとする

勤務医部会

担当理事 岡田行生

1. 平成16年度 岩手県医師会勤務医部会総会

日 時：平成17年3月5日(土)

午後3時15分

場 所：岩手県医師会館大ホール

【報告事項】

- 1) 平成16年度勤務医部会活動報告につ

いて

- 2) 平成17年度事業計画・予算(案)につい
て

- 3) 岩手県地域がん登録・地域脳卒中登
録回収状況について

これらの報告につづいて講演会が
行われた。

特別講演：

「これからの医療はプロセスとアウトカム
ードクターフィーの評価－」

メディカル・マネジメント・オフィス代表

大東文化大学

2. 岩手医科大学「地域医療研修」

打ち合せ会

日 時：平成17年5月16日(月)

午後6時

場 所：エスパワール いわて

【報告事項】

1) 岩手医大では、教育カリキュラムと
して3年生に「地域医療研修」があ
り、今年も7月4日から7月8日ま
での5日間、岩手郡では安代診療所
2名、葛巻病院3名、零石病院3名、
田山診療所2名、西根病院3名、沼
宮内病院3名の学生を受け入れ指導
を行うことになった。

非常勤講師 工 藤 高

学校医部会

担当理事 上原充郎

1. 平成17年度 岩手郡医師会学校医部会

事業計画

【新規事業】

1) 人間の命(いのち)の大切さを認識させる教育

2) 他人の“いたみ”を感じとれる学童の育成
この2項目を新規にかかげた。

昨今の国内は若年者による犯罪、特に若年者による殺人、傷害、インターネットによる集団自殺など命(いのち)と係わる、特に命を粗末にする事件が目につく。ある新聞社のアンケートによると中学生の18%は死んだ人間は生き返ると考えていると報じた。

また、小学生による殺人・成人による小児の殺害。いずれの加害者も殺人にに対する罪悪感、犯罪意識など少しも感じていないし反省の心も無い。有名になりたいから人を殺した。人を殺して死刑になりたいなど、とても正常な人間とは考えられない。アンケート結果から“たまごっち”的ようにリセットすれば死んだ人間が生き返ると考えている者もいるようだ。自分にやられるのは嫌なことでも同じことを他人へはやるという自己中心の考え方。

何故このような学童が増加してきたのかを我々校医、そして教育者は反省する必要がある。

私が学校保健に関係し始めた頃は肥満、高脂血症など学童生活習慣病への取り組みが始まった時だった。学童生活習慣病検診の必要性がいろいろな場で話し合われ、各自治体の協力のもとに多くは予防医学協会にその検診を委託し、

事後指導を校医が行うという形だった。このことは今も変わりがないようだ。

その後、不登校、いじめなどが表面化してきた。7~8年前、岩手郡内の小中学校約80校に不登校、いじめ等に関するアンケート調査を実施したことがあるが、ほとんどの学校ではそのような事実は無いとの返事であった。だがこの返事は必ずしも事実ではないように私は思えた。返事をした学校が校内の実態を把握していないのか、あるいは報告するほどのことではないと判断したようと思われる。それはあちこちの小中学校の児童や家庭から不登校、いじめの事実が私に聞こえてきたからです。さらに学校に(教育委員会の中に)そのようなことのためのカウンセラーが配置されたのです。

近年になり学童の思春期保健、性教育のあり方が議論されるようになった。つい最近盛岡市の産婦人科の講話を聞く機会があった。その先生は、今的小学高学年、中学生の性教育は“避妊と性病予防”につきると話された。教育委員会は“寝ている子を起こすような性教育は必要な”と言うが“子供たちはすでに起きている”と話された。腹痛で来院した12歳の女児が妊娠していた例も話された。

生活習慣病、いじめ、不登校、性教育これらはいずれもごく少数ではあるがそれに対応するのがいかに大切で難しいことであるか。

今年度は今まで郡内の中学校において上げてきた事業実績に加え、新規の2事業にも積極的に取り組んでいきたい。

【継続事業】

- 1) 子供たちの教育を学校・家庭・地域・校医などが一体となって実施できる環境作りへの努力
- 2) 学童の心の問題(いじめ、不登校)への取り組み
- 3) 学童の思春期保健への取り組み方と性教育

育のあり方への研修と実施

- 4) 感染症新法をふまえた学童の感染症対策
- 5) 喫煙、飲酒防止対策
- 6) 小児生活習慣病の検診、事後指導
- 7) 地域学校保健会の活性化
- 8) 幼稚園、保育園保健活動の推進
- 9) 循環器検診

地域医療部会

担当理事 篠村達雅

1. 岩手郡医師会地域医療懇談会

日 時：平成17年5月20日(金)

午後6時半

場 所：ホテルメトロポリタン盛岡

New Wing

出席者：玉山村に事業所のある郡医師会会員

八角正司 三善悟 遠藤憲幸

成島勝之助 坂本文明 各先生

郡医師会役員：及川忠人会長 高橋孝

西島康之 両副会長 栗内秀彦

篠村達雅 両総務担当理事

平成18年1月10日玉山村は盛岡市と合併する予定である。それに伴い休祭日当番

医、予防接種、社保、国保の整理番号の変更、介護保険、等々の問題が起こってくる。

会長挨拶および1)、2)の報告の後、懇談に入った。

- 1) 最近の市町村合併と都市区医師会の動向(全国、岩手県)
- 2) 岩手郡医師会内町村合併に関する検討 玉山村の会員が不安にならないよう、また地域医療の質的低下をきたさないように検討すべきという理事会の意向を伝え、散会した。

次回は9～10月の予定。

いわて医師協同組合 第15回通常総代会

担当理事 高橋孝

日 時：平成17年5月21日(土)

午後3時

場 所：岩手県医師会館

当日、故秋浜晃先生のご葬儀と一緒に時間帯であり、理事として西島、総代として篠村(達)、高橋(孝)が出席した。

概要はいかなる会であっても会員数が多いと運営面でも良いように、医師協同組合は昨年より10名多い620名であった。もつ

ともっと会員数を増やす努力をしたいとのことで、組合員のニーズにあった事業を開拓したい旨の話しがあった。例えば機密書類出張裁断、個人情報漏洩保険、医療廃棄物処理事業等等ありましたが、事業の利用、組合員の勧誘はもとより、組合の健全な運営に我々全員が努力することも多いと感じました。

結核健診のアンケート結果

盛岡保健所管内医療機関における結核健康診断等の実施状況調査(アンケート)について

昨年、盛岡市、紫波郡、岩手郡の各医療機関(診療所)の協力を得て、標記アンケートを実施し、その結果をまとめました。

また、結核予防法の一部改正に伴い、結核健康診断の対象者が別紙のとおり大幅に変更となります。医師を中心とする医療従事者においては、罹患した場合の社会的影響を鑑み、従来どおり年に一回の結核健康診断が義務付けられております。

	盛岡市医師会	紫波郡	岩手郡
配布対象施設	281	33	78
回答	179	25	47
医師の健康診断について			
毎年実施	134	22	37
隔年で実施	22	2	8
ここ数年実施なし	23	1	2
その他	0	0	0
職員の健康診断について			
毎年実施	144	22	43
隔年で実施	10	2	2
ここ数年実施なし	19	1	2
その他	6	0	0
ツベルクリン反応検査について			
看護職のみ実施	6	0	0
職員全員実施	3	1	4
実施していない	169	24	43
実施方法について			
自施設で実施	93	10	29
他の医療機関で実施	49	3	11
医師会等団体に申し込んで集団で実施	104	10	11
市町村の住民検診を利用して実施	7	4	8
その他	1	0	0

結核定期健診の概要

▶ 集団感染防止の観点から

▶ 感染の危険の高低に拘わらず発症により二次感染を起こす危険性が高い職業層

▶ 地域の実情に応じた健診の実施 ▶ 罹患率の高い高齢者層の健診を継続するとともに、都市部等結核罹患率が高い地域における、結核発症のリスクが高い住民等に対して重点的な健診を実施

■学校における健診

高校生、大学生等(入学時健診)

■施設の入所者に対する健診

刑務所(入所時および20歳以上毎年度)
社会福祉施設(老人ホーム、障害者施設等)(入所年度および65歳以上毎年度)

■事業所における健診

学校、病院、診療所、助産所、老健施設、社会福祉施設の従事者(就職時及び毎年度)

■市町村における健診

①65歳以上は毎年度
②40歳以上の者であって、都市部の罹患率が高い住民等、市町村が地域の罹患率、患者発見率等に照らして特に必要と認める者(市町村の定める時期)

・リスク評価を重視した効率的な健診
・接觸者健診、有症状者受診に重点

会員の異動

◎退会会員

嶋 信	西根町	嶋医院	平成17年3月31日付(盛岡市医師会へ)
杉本圭士郎	松尾村	老健 岩鷺苑	" (")
秋浜 昇	玉山村	秋浜内科クリニック	平成17年5月19日付(逝去)

◎施設異動等

西谷 巖	滝沢村	滝沢中央病院	平成17年2月1日付(理事長及び院長に就任)
小時田宏介	滝沢村	滝沢中央病院	平成17年2月1日付(老健 あしろ苑施設長)
伊藤 忠信	安代町	あしろ苑	平成17年2月1日付(老健 岩鷺苑施設長)

お知らせ

第57回 岩手県医師会親睦野球大会開催について

1. 日 時 平成17年8月21日(日)
 受付 午前7時00分～7時30分
 主將会議 午前7時40分
 開会式 午前7時40分
 試合開始 午前9時より各球場
2. 場 所 久慈市営球場(長内町を主会場とする8会場)

みんなの **いわて** を
医協
ご利用ねがいます

医療用品カタログ通販 5,000品目満載 最大89%引き

医用印刷物・医療機器・医療事務機器・衛生材料等々・保険事業・医療廃棄物処理事業(収集から各種報告書作成まで)・福利厚生事業・労働保険事務代行事業

TEL.019-626-3880
問責専用 フリーダイヤル 0120-054-222
FAX.019-626-3883

URL <http://www.ginga.or.jp/isikyo>
 E-mail isikyo@rose.ocn.ne.jp

 **いわて医師協同組合**
IWATE MEDICAL COOPERATIVE ASSOCIATION
 〒020-0024 盛岡市泉邊二丁目8番20号 岩手県医師会館内

平成17年度 第1回通常総会

1. 日 時：平成17年7月2日(土) 午後4時

2. 場 所：ホテルメトロポリタン盛岡 本館

3. 通常総会 (午後4時)

【報告事項】

1) 各担当理事会務報告

2) その他

【議 事】

第1号議案 平成16年度岩手郡医師会一般会計決算書(案)について

第2号議案 平成16年度岩手郡医師会休祭日当番医決算書(案)について

第3号議案 平成16年度岩手郡医師会特別会計決算書(案)について

第4号議案 監査報告

4. 特別講演

演 題 「平泉と源義経」

講 師 (財)岩手県教育弘済会理事長 金野靜一 先生

5. 懇親会 午後6時半～

特別講演講師ご紹介／金野靜一(きんのせいいち)

大正13年岩手県大船渡市生まれ

経歴

- 昭和49年 岩手県教育委員会県立学校課長
- 〃 55年 岩手県立盛岡第二高等学校校長
- 平成2年 盛岡大学短期大学部教授
- 〃 3年 岩手県立博物館長
- 〃 6年 岩手県文化財保護審議会長
- 〃 12年 岩手県文化財愛護協会顧問
- 〃 13年 岩手県教育弘済会理事長

著書・論文その他顕著な業績等

- | | |
|-----------------------|-----------|
| 岩手県の地名(歴史・地名・事典) | 平 凡 社 |
| 岩手の伝説 | 角 川 書 店 |
| 日めくり草子 | 岩 手 日 報 社 |
| 三陸物語 | 熊 谷 印 刷 |
| 岩手県の不思議事典 | 新人物往来社 |
| 新・みちのく物語 | 盛岡タイムス社 |
| 義経北行 上巻 | ツーワンライフ |
| | 他 多数 |

編集後記

会員の皆様のご協力にて、「岩手郡医報」平成17年度第1号を発行することができました。

先日、県の「広報委員・いわて医報編集委員連絡協議会」に出席しました。この会で毎回問題となるのは「読んでもらえる会報にするには、どうするのか?」ということです。

ニュース性・記録性を重視すれば読んでもらえず、かといって同人雑誌的になるのも、いかがなものか……

実際読んでもらえない会報の順では

- ①日本医師会報
- ②各県医師会報
- ③各都市医師会報とのことです。

結果的には、どうも会員からの距離があり筆者の顔が見えにくい順番な様です。

岩手郡医師会は、総会・野球大会・ゴルフ大会・産業医講習会などを通じて役員と一般会員の接する機会が多く、そのことが「岩手郡医報」を多くの会員の方々に読んでもらえることにつながるのではないかと感じています。

本年度は年4回の発行を予定しています。ようやく波に乗りかけた編集委員会ですが、今後一番危惧されることと言えば編集委員長を始めとする玉山村の会員が編集委員に含まれている事です。

(枠内)

岩手郡医報：No.81／2005年6月発行

発 行：社団法人 岩手郡医師会

発行責任者：岩手郡医師会会长 及川忠人

事務局：〒028-7303 岩手郡松尾村柏台二丁目
8番2号東八幡平病院内

電話 0195-78-2607

FAX 0195-78-2555

印 刷：株吉田印刷